

教材データベース構築における数値情報と文字情報の整合性について

オーガナイザ :

吉根勝美 (南山大学), 野崎浩成 (愛知教育大学),
長谷川信 (岐阜聖徳学園大学短期大学部), 磯本征雄 (名古屋女子大学)

昨年の全国大会でのワークショップを引き継いで、今回は、eラーニングにおける数値情報と文字情報に注目します。学習者の理解促進のために、静止画像、動画像、音声、CG等によるマルチメディア教材がたびたび使われますが、文字情報や数値情報の重要性は、言を俟たないところです。しかも、eラーニング教材では、属性が異なる数値と文字が、データ構造上、密接な関係を持っています。例えば、統計データは、単なる数字の羅列ではありません。文字情報が入って初めて、その数字が何を示しているのか分かります。

属性の異なる情報が共存する教材において、教材作成者は、教育上の効果を考えて、異なる属性の間にも何らかの整合性を持たせているはずですが、今後のeラーニングの普及を考えると、既存の教材を共同で再活用する上で、このような教材作成者の意図についての共通認識が求められます。

このワークショップでは、教育システム情報学会東海支部の活動のひとつである“eラーニング勉強会”の報告を兼ねて、教材データベース構築における数値情報と文字情報の整合性にまつわる諸課題について、全国大会出席の会員諸兄と共に、様々な立場から議論する予定です。

■ 開催日時 : 8月22日 (水) 9:30~11:50

■ 内容

(1) 「ICTを活用した統計教育」

寺尾敦 (青山学院大学)

(2) 「統計レポートの文章作成支援」

吉根勝美 (南山大学)

(3) 「日本語教育のためのICT用語辞書の作成におけるコーパスの活用」

野崎浩成 (愛知教育大学)

(4) 「プレゼンテーション能力育成のためのiPadやPCを使ったeポートフォリオの活用」

山住富也 (名古屋文理大学)

(5) 「食事調査における画像・数値・文字の整合性」

長谷川信 (岐阜聖徳学園大学短期大学部)